事業区分　：　道路事業

事業名	東北中央自動車道　湯沢横手道路 （秋田県湯沢市～横手市）

事業着手：昭和59年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道13号における当該区間は、交通量の増加と車輌の大型化による交通混雑、特に冬期間の交通渋滞が著しく、沿道の生活環境の悪化等を引き起こしており、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

湯沢横手道路は、当該区間における一般国道13号の交通混雑の解消及び沿道環境の改善を図るとともに、地域間の交流・連携に寄与することを目的とした延長29．0kmの道路事業です。



▲　位　置　図



▲一般国道13号湯沢市上関地内の冬期交通状況

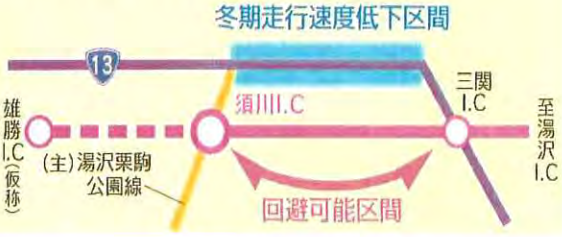
地域産業への支援

小安峡などの観光資源を有する湯沢市周辺地域へのアクセス性を向上させ、観光産業の活性化を促進します。



冬期間の交通環境の向上

民家が建ち並び、冬期には積雪路面や、道路の幅員狭小が原因の走行速度低下を起こす現国道13号を回避することができ、円滑な交通が確保されます。



平成19年度事業内容

○雄勝I．C～須川I．C区間のL＝3．6kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、暫定供用を図ります。

事　業　効　果

○地域産業への支援
湯沢市周辺地域へのアクセス性を向上させ、観光産業の活性化を促進します。

○冬期交通環境の向上
民家が建ち並び、冬期には道路の幅員狭小が原因の走行速度低下を起こす現国道13号を回避することができます。

事業区分　：　道路事業

事業名	一般国道13号　大曲(おおまがり)バイパス （秋田県大仙(だいせん)市）

事業着手：平成11年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道13号は、福島市を起点として山形市、新庄市、湯沢市、横手市、大仙市等の主要都市を経て秋田市に至る総延長314．6kmの主要幹線道路として重要な役割を果たしています。

大仙市を通過する大曲バイパスは、中心市街地部の交通環境を改善する目的で計画され、平成5年に2車線暫定供用しました。しかしながら、郊外型ショッピングセンター等の出店、地域間交流の増大等により交通量が増し、速度の低下、渋滞の発生等幹線道路としての機能が低下しています。

「事業の概要」

大曲バイパスはこれらの問題を解消し、また、秋田県で整備したの「地域高規格道路大曲西道路」と連携して「秋田自動車道大曲IC」へのアクセス性の向上を図ります。また、地震時等による被災時の円滑な救急・救援活動や緊急物資の輸送、復旧活動の支援等を図る事などを目的とした延長7．2kmの4車線化事業です。



▲　位　置　図



▲周辺開発状況



▲玉川橋南交差点渋滞状況

平成19年度事業内容

○大仙(だいせん)市富士見町(ふじみちょう)～花館(はなだて)間のL=2.6kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、全線完成供用を図ります。

事　業　効　果

○地域高規格道路「大曲西道路」と一体になった整備を行うことにより、大曲ICおよび大仙市街地とのアクセス性が向上します。

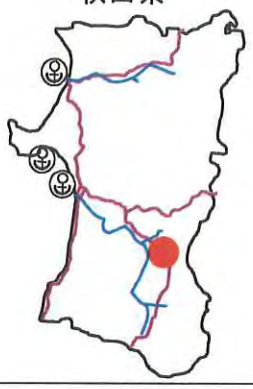
事業区分　：　道路事業

事業名	一般国道13号　神宮寺バイパス（秋田県大仙市）

事業着手：平成10年度	完成・供用の目標年度：平成19年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道13号は、福島市を起点として山形市、新庄市、湯沢市、横手市、大仙市等の主要都市を経て秋田市に至る総延長315kmの主要幹線道路です。

神宮寺バイパスは、沿道地域の開発、地域間交流の増大等によって交通量が増加し、走行速度の低下、渋滞の発生、冬期の幅員狭小等、沿道環境の悪化等を引き起こしており、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

神宮寺バイパスは、当該区間における一般国道13号の交通混雑の解消及び沿道環境の改善を図るとともに、地域活性化支援と地域間交流・連携に寄与することを目的とした延長9．6kmの道路事業です。



▲　位　置　図



渋滞の状況

一般国道13号を利用していた交通がバイパスに転換することにより、渋滞が緩和され、交通事故の減少が期待されます。



▲一般国道13号大仙市神宮寺地内の冬期交通状況

平成19年度事業内容

○大山市神宮寺地内のL=3.3kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、部分暫定供用を図ります。

事　業　効　果

○現道の交通量がバイパスに転換し、交通混雑の緩和、沿道環境の改善が図られます。
○隣接する大曲バイパスの4車線供用と一体となって、大仙市街地とのアクセス性が向上します。